

※3月14日発表資料の主な変更点を下線で表示

いたくらくこくがわ

## 新潟県上越市板倉区国川地先の地すべり災害対策 ～北陸地方整備局等の支援状況をお知らせします～ 《平成24年3月21日現在》

新潟県からの要請を受け、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の人的派遣及び災害対策用機械の派遣を行っています。

### ■緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）等の派遣状況（3月8日～21日）

#### 派遣人数 のべ129人・日

○高度技術指導班（3月8日～21日）※22日以降も継続予定、高度技術指導班は応急対策の工法について、住民の安全安心を確保するための対策の技術的な助言を行っています。

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部	のべ 2人・日
北陸地方整備局	のべ68人・日
独立行政法人 土木研究所 地すべりチーム	のべ 4人・日
独立行政法人 土木研究所 雪崩・地すべり研究センター	のべ41人・日

他に、北陸地方整備局より

○応急対策班（照明車等）（3月8日～15日）	のべ 3人・日
○情報通信班（Ku-SAT等）（3月8日～12日）	のべ 8人・日
○リエゾン（現地本部：国川公民館）（3月9日～10日）	のべ 3人・日

### ■支援資機材の派遣状況（3月8日～21日）

・Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）	7台	常時監視
・監視カメラ	3台	常時監視
・照明車	6台	常時監視体制及び夜間作業照明
・2t異形ブロック	約1,969個	地すべり防護堤
・5～6t異形ブロック	約1,000個	地すべり防護堤
・排水ポンプのフロート（浮き輪）	5個	雪解け水の排水用
・遠隔操作パワーショベル（1.4m <sup>3</sup> 級）	2台	排土等
・盛り土材	約2万m <sup>3</sup>	導流堤

※資機材は、新潟防災センター（新潟市）、富山防災センター（富山市）、上越防災支援センター（上越市）、高田河川国道事務所（上越市）、千曲川河川事務所（長野市）から派遣

※参考資料はホームページに掲載します。URLはこちらです。→ <http://www.hrrmlit.go.jp/press/2011/press.html>

#### 【参考】

・「Ku-SAT」：通信衛星を利用した映像・音声・電話、FAX等の通信を行う装置であり、人力による持ち運びが可能です。災害現場にKu-SATを設置し、現場の状況を映像で災害対策本部等に送信することにより、災害の監視や復旧の計画等に役立れます。また、映像の受信も可能であることから災害映像の受信用としても幅広く利用されています。

・「リエゾン」：情報連絡員の意味です。

・北陸地方整備局は、迅速に広域的な災害対応を行うため、管内の3つの防災拠点に防災センター（新潟市・上越市・富山市）を設置し、要請を受けた事務所や最寄りのセンター等から災害対策機械を出動させ防災活動を行っています。

同時発表記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
富山県政記者クラブ  
石川県政記者クラブ  
その他・専門紙

#### 問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局  
河川部 河川計画課長 村山 英俊  
電話 025-280-8880（代表）内線 3611(河川計画課)  
企画部 防災課長 宮村 兵衛  
電話 025-280-8880（代表）内線 3411(防災課)

# 地すべり災害の応援概要（災害対策用資機材の貸与・技術支援等）

03/21 企画部防災課

- ◆平成24年3月7日(水)夕地すべり発生、8日夕新潟県より支援要請、直ちに北陸地整は災害応援の警戒体制を発令し支援に着手
- ◆緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)派遣(対策検討の技術支援等)
- ◆リエゾン(情報連絡員)派遣(新潟県庁・現地対策本部)
- ◆貸与資機材:照明車6台、KU-SAT7台、監視カメラ3台、遠隔操縦式BH2台、異形BL約2969個、土砂等(3月21日時点)  
→・地すべり監視のため、新潟県(本庁・妙高砂防)上越市(本庁・板倉)、自衛隊高田駐屯地等へ映像を配信



←監視カメラの設置状況(頭部)



↑貸与した異形ブロックの設置状況



↑技術支援(対策検討)



↑夜間照明による監視状況



↑上越市板倉区総合事務所のKU-SAT設置状況



↑遠隔操縦式バックホウ



↑地すべり監視状況(現地対策本部の国川公民館)